オンライン素形材技術セミナー

自動車の電動化で素形材はどう変わるⅡ

ご　案　内

主催　：　一般財団法人　素形材センター

自動車業界が 100 年に一度の変革期に来ていると言われるようになって久しくなった。特に、電動化は世界的に急激に進んできた。素形材業界はその製品の多くを自動車に供給しており、自動車の変化が大きく影響する。そこで、素形材誌では、2020 年に「自動車の電動化によって、素形材がどのように変わってくるのか」について、特集を組み、素形材の材料と加工技術についての記事を掲載した。その特集から 5 年以上が経過し、状況が変わりつつある。中国、欧米諸国では、BEV が急激に増加したが、ここにきて陰りが見え始めた。一方で、PHEV や HEV が見直されてきて、変化が起こりつつある。超大型のダイカスト部品の車体への適用が進むなど、素形材の適用も大きく変わりつつある。

そこで、これらの変化を踏まえて、それぞれの分野での最新状況についてのセミナーを企画しました。皆様のご参加をお待ちしております。

●日　時　令和 9 年 2 月 19 日(金)13:00～17:00 オンラインセミナー（Microsoft Teams を使用）

●プログラム　　コーディネーター　(公社)日本鋳造工学会　事務局長　神戸　洋史

1. 乗用車を中心とした地球環境問題への最近の対応状況と素形材への期待----13:00～13:40

素形材の多くは自動車の部品に適用されており、自動車の変化に大きく影響される。地球環境問題への対応のため、自動車の電動化が世界的に進んできており、特に 2020 年あたりからの変化が大きい。中国、欧米諸国では BEV が急激に増加してきたが、ここにきて少し陰りが見え始め、PHEV が見直されたりして、変化が起こりつつある。本講演では、乗用車を中心に、電動化の最新動向と素形材への期待について述べる。

(公社)日本鋳造工学会　事務局長　神戸　洋史

2. 商用車のカーボンニュートラル戦略と素形材産業への影響 ----------13:40～14:20

商用車のカーボンニュートラル化は、車両の用途や使用環境に応じたマルチパスウェイで進められている。本講演では、電動化や CN 燃料への対応によって変化する素形材への要求と、鋳造・鍛造・成形技術の進化の方向性を解説する。さらに、多品種少量生産への対応や、生産工程の脱炭素化に向けた技術開発の事例を紹介し、今後の素形材産業に求められる技術と役割を展望する。

いすゞ自動車㈱　茂泉　健

3. 自動車の電動化とアルミニウム合金ダイカストの最新状況 ----------14:20～15:00

1997 年京都議定書採択された以降、自動車に脱炭素化、EV 化が求められ、アルミニウム合金鋳物・ダイカストにも大きな影響を及ぼしてきた。最近では脱炭素化とともにサーキュラーエコノミーも求められている。この間、アルミニウム合金ダイカストにも電動化への対応や新たな工法であるギガキャストが生まれた。エネルギー消費が少ないアルミニウム合金ダイカストの重要性が高まり、リサイクル性と生産性を両立する設計や材料開発について報告する。

リョービ㈱　経営企画部　参事　駒崎　徹

4. 自動車の電動化と鉄系鋳物 ----------15:10～15:50

自動車の電動化により、自動車部品に対する軽量化ニーズが今まで以上に高まり、鉄系鋳物の使用率は減る方向にある。その一方でマルチパスウェイに象徴されるように、自動車の動力に多様な選択肢が残ることも考えられ、鉄系鋳物への新しいニーズも期待される。全体としては使用率が減る中で、どのように対応してくか、当社の事例を参考に、電動化時代における自動車用鉄系鋳物とその将来について考える。

㈱未来キャスティングホールディングス　素材研究所長　関口　謙一郎

5. 電動車駆動モーターにおける素形材加工技術 ----------15:50～16:30

世界的な EV 化の流れはやや遅くなっているものの、電動車（xEV）販売台数は増加の一途をたどっており、2035 年には新車販売の約 60%を占める予測もある。この流れの中で、駆動モータは車両性能の中核を担い、その重要性は増している。本講演は、高性能モータを実現するために不可欠な主要構成要素の素形材加工技術に焦点を当て、その役割と課題を概説する。

日産自動車㈱　素形材・成形技術開発部　塑性加工技術グループ　藤川真一郎

6. 総合討論 ----------16:30～17:00

司会　(公社)日本鋳造工学会　事務局長　神戸　洋史
出席講師　全　員(予定)

＊　状況によっては、プログラムの変更、開催を中止させていただく場合がございますので、ご了承ください。

●参加要領

◇定　　員　80 名　　（申込順に受け付け、定員になり次第締め切ります）

◇参 加 費　13,200 円 （消費税込み） 講義資料は PDF で送信いたします。
　素形材センター特別賛助会員、一般賛助会員は、50%割引。
素形材センター協賛会員割引はございません。
開催前日まで参加取消のご連絡がなく,当日欠席されても参加費はお返しいたしません。

◇申込方法
素形材センターホームページからお申込み下さい。
申込：https://www.sokeizai.or.jp/pages/110/
一般財団法人　素形材センター　企画部 E-mail kensyu@sokeizai.or.jp　　電話 03(3434)3907

◇参加費のお支払い
　参加申込後，請求書をメールいたします。
（領収書を必要とする場合は、申込書にその旨をご記入下さい。振込手数料はご負担願います。）

◇申込締切　令和 9 年 2 月 9 日（火）

◇注意事項
・Microsoft Teams を使用したオンラインセミナーです。セミナー参加のために、パソコンやタブレットなどの端末と、インターネット環境、メールアドレスが必要です。また、通信費は参加者負担になります。
・カメラ、マイク、スピーカーを備えたパソコンでの参加を推奨しています。
・セミナーの録音・録画等や、本セミナーのコンテンツ（セミナー参加の URL、パスワード等）を外部に流出させる行為は、固くお断りいたします。
・1 名様につき１つのお申し込みとしてください。１社で複数名様がご参加の場合、それぞれお申込みください。
・映像や音声が乱れる場合がございます。ご了承ください。
・参加者ご自身の機材に関するトラブル等のお問合せには、事務局は対応いたしかねます。
※その他注意事項につきましては、参加申し込み後にお送りするメールに記載させていただきます。

個人情報保護法に関する対応
　ご記入頂いた個人情報は、本セミナーの事務に利用するとともに、参加者リストを作成し、講師に手交します。また、素形材センターの行う各種研修、セミナー、出版物、事業の案内状の送付に利用する予定です。今後、素形材センターが行う素形材産業の実情に関する調査アンケートへの協力依頼を行う場合もあります。